

東北復興日記

74

MOE南相馬応援エンターテイメント代表
新川幸枝さん



キッチンカー 安心も運ぶ

震災から半年後、東京

で就職して以来約二十年ぶりに福島県南相馬市に戻ってきました。運送会社の現場で仕事をしていた経験を生かし、約一年は重機などを使って沿岸



部のがれき処理の仕事をしました。

避難等で急速に進んでしまった高齢化、この地

にとどまっている障害のある方たち、孤独死、自死、うつ。震災や原発事故によっていろいろな問題が起き、解決できぬまま今日に至っています。

話をしようになりまして。今では毎朝約五十人が参加しています。

そんな中、市民として何かできないものかと、二〇一二年六月に医師と市民が一緒に考え立ち上げたのが「みんなのとなり組」でした。農作業ができなくなり運動不足となって持病が悪化する農家の方や、引きこもりがちの方にいかに外に出てもらうか。交流の場をつくらうと、屋外で朝のラジオ体操を始めました。お医者さんたちも、参加される地域の方と次第に

話をするようになりまして。今では毎朝約五十人が参加しています。それでもまだ問題は山積みです。外にでる気配のない方、買い物や外出が困難な方にご飯や酒を届ければよいのか。待つのではなく出向けばいい。ここからキッチンカーを作らうというアイデアが生まれました。「食」を運ぶとともに「安心」(見守り)を運ぼうと。

そこで、内閣府や金融機関から約四百万円の支援を受け、キッチンカーを購入。目立つようにアニメーションプロデューサーの横田守先生にイラストを描いていただきま

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。